

「里山資源」を活かし
自然に人が集まる
美しい場所に

オーガニックスキンケアの製造販売を行っているネオナチュラルの高柳です。

私たちが大和町母袋地区に有機農場を開場してはや12年がたちました。はじめは荒れて草木が生い茂った耕作放棄地を、重機なども利用して少しずつ復活させながら僅かな面積の圃場からスタート。現在ではヘチマ栽培（化粧水の元となるヘチマ水を採取するための栽培です）やラベンダーなどのハーブの栽培など、地元のみならずに協力を得ながら徐々に栽培面積も拡大し8反ほどになりました。さらに、古民家を改修した農場



母袋有機農場と栗葉の家



ヘチマの栽培の様子

郡上の地域資源を活かし、地域の課題を解決する
新しいプロジェクトが始まっています！

内の工房で栽培した農産物を加工し、甘酒や黒にんにくなども生産し全国に販売を開始しています。

この農場では、圃場管理や、収穫した農産物の加工、食品製造出荷、その他様々な農業体験などのイベント運営など、多岐にわたる仕事があります。農場がスタートした当初から、これらの多くの仕事を地元のみならずの協力のもと運営し、現在は約20人の地元のみならず、また専属のスタッフも農場に



元気な製造スタッフたち

常駐し元気一杯働いています。

この農場の役割は、私たちが販売するスキンケア製品の原料栽培はもちろんですが、お客様に美しい自然の中での農作業や自然に根ざした里山生活の体験を美容健康に役立ててもらうことです。

そして、これを継続して行くために、母袋の美しい自然と里山での生活という「里山資本」を



2016年の田植えの様子



都市部のみなさんを招いた収穫体験

守っていくことがとても大切だと考えています。なかなか簡単なことではありませんが今後も私たちの活動によって、さらなる里山資源の発掘を行い、自然に人が集まる美しい場所にしていく。それが私どもの使命だと考えています。さらに、その成功モデルを他の地区にも広げていくことを目指していきます。実はまだ詳細はお話しできませんが、この農場で農業体験を中心にした新たなプロジェクトが来年からスタートする予定なのです。ああ早く話したい！

問

(株)ネオナチュラル母袋
有機農場・栗葉の家
052・745・3344

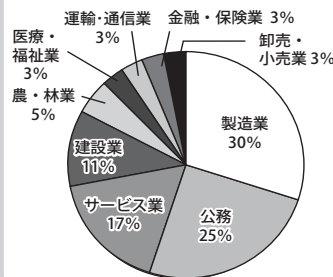
～輝く未来に向かって～ 郡上未来通信 (郡上市雇用対策協議会)

就職に係るアンケート調査結果について

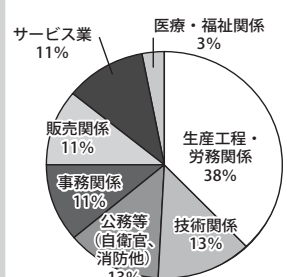
今春卒業し、社会に出る高校3年生の就職内定者のみなさんにアンケート調査を実施しました。3年生のみなさんが、どんな産業に就職し、どんな職業についたか、またどのように就職先を決めていったのかをお聞きしましたので、これから就職に向けて準備をしていくみなさんの就職活動の参考にしてください。(内定者数36名)

問 ハローワーク岐阜八幡 65-3108

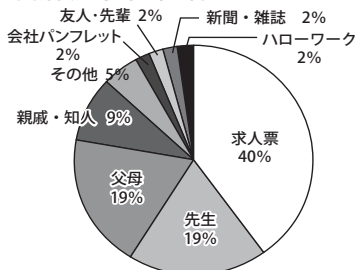
①就職先事業所の産業は



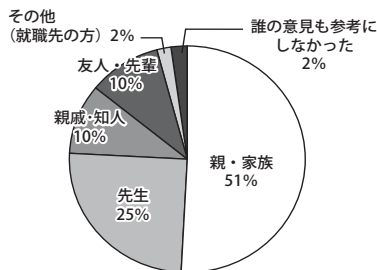
②就職先事業所の職業は



③就職先事業所は何で知りましたか



④就職するにあたり誰に相談しましたか



⑤就職先事業所をえらぶ時に重視したことは

